

第1回立川市契約・倫理制度改革評価委員会会議概要

会議名称 第1回立川市契約・倫理制度改革評価委員会

開催日時 平成30年8月20日（月）午前10時から午前11時44分まで

場所 302会議室

出席者

【委員】 鈴木 満（委員長）、上條弘次（副委員長）、滝島秋生、宮本直樹、橘 順弘、矢古宇恭子、山田春紀、榎本孝芳、清水光子、加藤良重、山田廣幸

【市職員】 大霜副市長、田中行政管理部長、佐藤人事課長、奥野人材育成推進担当課長、岡本品質管理課長、岡崎人材育成推進係長、宮川品質管理課主査、北林品質管理課主査、山口品質管理課主査

次 第

1 委員長あいさつ

2 議事

（1）委員会等報告について

ア 入札等監視委員会報告

イ 職員倫理審査会報告

3 その他

1 委員長あいさつ

2 議事

（1）委員会等報告について

ア 入札等監視委員会報告

鈴木委員長が資料に基づき委員会の開催内容について報告した。

- ・ 資料1の第三者委員会審議経過について、入札等監視委員会を平成29年度の第6回、平成30年度の第1回・2回の計3回開催した。

資料2の平成25年度から29年度までの5年間の工事契約推移について、平成29年度は158件の発注案件のうち特命随意契約

が25件、一般競争入札が116件と、一般競争入札が主流になっていることがわかる。国が推進している総合評価方式も1件あるが、発注者の恣意性の問題や行政コストがかかるなどといった問題もあり、本市では限定的にしか運用していない。また、平成29年度の契約金額は、全体で約51億円のうち、一般競争入札が約44億7,000万円、特命随意契約が約6億2,000万円となっている。単純平均落札率について、一般競争入札は85%前後で推移しており競争状態は概ね良好と言える。平均入札参加者数では、一般競争入札がここ数年、4.8社や4.9社と若干増加している傾向にある。

資料3の平成29年度工事契約状況について、単純平均落札率は87.14%と前年度より1ポイント強下降しており、加重平均落札率ではほぼ横ばいとなっている。次に工種別入札結果状況について、空調工事や給排水衛生工事などは、毎年90%以上で推移しており、競争状態が多少十分ではないという傾向がある。

資料4は委託契約の5年間の推移について、全体では毎年500件前後が発注されているが、このうち平成29年度の特命随意契約が184件、競争分が234件で工事と比べ特命随意契約の割合が高いと言える。契約金額では全体で約37億8,000万円のうち特命随意契約が約16億7,000万円、一般競争入札が約16億4,000万円で特命随意契約の割合が高いことがわかる。単純平均落札率について、条件付き一般競争入札の落札率は77%前後で推移しており、概ね競争状態は安定していると言える。平均入札参加者数について、条件付き一般競争入札では7社前後で推移しており、平成25年度が8.6社と多いが、平成29年度は7.6社と概ね競争状態は維持されていると考える。

資料5の平成28年度と平成29年度の業務委託の比較状況について、落札率100%の案件は平成28年度が169件、平成29年度が155件、95%以上100%未満の案件では平成28年度が101件、平成29年度が125件と落札率の高いものが件数的に多い反面、70%未満という落札率の低いものも相当数ある。単純平均落札率は平成28年度が88.14%、平成29年度が87.29%と若干下降しているもののほぼ横ばいと言える。

資料1の第三者委員会審議経過について、平成29年度第6回入札等監視委員会では、平成29年9月16日から平成30年1月15

日までの入札案件として、委託契約案件が平成28年度は36件、平成29年度は32件と若干減少し、契約金額も平成28年度は約6億7,000万円、平成29年度は約3億1,000万円とかなり減少した。また、単純平均落札率では平成28年度が81.67%、平成29年度が79.84%と若干下降している状況にある。平成29年度の32件のうち長期継続契約は1件あった。同じような継続的な業務については何年分を一括発注したほうが競争性が高まるため立川市では成果が出ている。基本的に契約は3月31日で終了するが、3ヶ月ずらし6月から3年後の6月までという契約にしたほうが契約事務が平準化すると思うので、今後もそうしたことを配慮してやってもらいたい。長期継続契約は非常に効果が大きいのので、より幅広く採用すべきではないかという意見も出ている。また、95%以上の高落札率案件を5件抽出し、どういう理由で高落札率になったかをそれぞれ審議した。最近3年間の落札率95%以上の案件は、同じ業者が長期間契約するのであれば、初めから3年契約や5年契約にし発注金額を大きくすれば、都内の業者も参加し競争性が高まって高落札率が解消されるのではないかといった意見が出た。次に特命随意契約については、業者選定理由や契約金額等が妥当なものか入札等監視委員会で全件チェックしているが、こうした対応をしているのは立川市だけではないかと思う。計23件の特命随意契約について、おのおの特命理由の説明書類に基づき審議した結果、例えばシステム改修業務等は製造した業者が自ら改修することが一番妥当といったことで特命随意契約にした案件が多いのは仕方ないということになった。また、入札等監視委員会に新清掃工場についての進捗状況の説明があり、二百数十億円の予算が必要になるとのこと。松阪市では229億円の予定価格のところ、建設工事と20年間の運転管理を一括発注したことで119億7,000万円で落札したが、入札前には業者との接触を一切絶つなど談合を完全排除するやり方を徹底した結果、競争性が確保された。国が推奨している総合評価方式については不祥事を生む原因と考え、松阪市では一切採用しておらず、当市でもそれを参酌して総合評価方式は採用しないと決めていると聞いているが、入札前に業者との接触を完全に絶たれているか再確認する必要があるのではないかといった指摘もあった。次に平成30年度第1回入札等監視委員会では、落札率95%以上の案件が11件もあった。市内

業者を優先した場合には落札率が高どまりする問題が起こるため、近隣自治体業者も入札参加できるよう地域要件を拡大するというのが最大の対策ではないかという指摘もあった。また、特命随意契約は5件あったが、個別チェックをした結果、特に問題はなかった。次に平成30年度第2回入札等監視委員会では、落札率95%以上の委託案件が3件あった。これは工期を短期間にする、それだけ労働者を確保する必要があることから落札率が高くなる傾向があるため、工期が短すぎたという問題もあるのではないかとということと、労務の提供部分が少ないと高落札率になりやすいという傾向があるのではないかとという指摘があった。また、特命随意契約15件のうちの12件が情報処理関係だが、当該業務はシステム設計を行なった業者に依頼するケースが多いことから特命随意契約になりやすいということで仕方ないのではないかとといった意見があった。最後に、本市では、工事成績評定と委託成績評定の両方を実施しており、工事については市が工事検査で厳重チェックを行ない安かろう悪かろうにならないようにしているが、委託業務についても同様に成績評定を厳重チェックするべきではないかという指摘があった。

イ 職員倫理審査会報告

職員倫理審査会副会長が資料に基づき審査会の開催内容について報告した。

- ・ 平成30年4月27日に平成30年度第1回審査会を開催した。
まず、報告書の審査については、栃木県宇都宮市の職員が業務視察に来庁した際に菓子折り等を持参した1件あった。審査委員会の審査結果としては、贈与者は利害関係者にあらず、社会通念上、儀礼の範囲で公正な職務遂行を妨げるものではないとした。

次にコンプライアンスの取り組みについて、コンプライアンス推進委員会等の開催状況について報告した。

コンプライアンス推進委員会については、平成30年2月1日に第3回委員会を開催し、コンプライアンス推進月間の取組とコンプライアンス実態調査アンケート結果の報告があった。

コンプライアンス推進員連絡会については、平成30年4月26日に第1回連絡会を開催し、コンプライアンス推進員・補

助員の役割について、立川市職員倫理条例・規則について、立川市公金等取扱指針について、内部通報制度についての周知徹底を図ったことと、コンプライアンス実態調査アンケート結果の報告があった。

次に嘱託職員採用時におけるコンプライアンスに関する意識啓発について、行政管理部長から各課長職宛てに周知徹底を依頼した件の説明があった。

最後に、3月31日付の正規職員退職者数と4月1日付の新規採用数等について、委員からの質問に対して事務局から説明があった。

ウ 委員会等報告に対する意見等

- ・ 特命随意契約理由について広報誌で周知したうえでホームページに掲載するなどし広く市民に公表することが望ましいと思うし、また、特命随意契約案件については、市がぜひやってほしいというスタンスなのか、あるいは他の業者に変えても構わないというスタンスなのか市の見解を聞きたい。
- ・ 資料3の平成29年度業種別工事契約一覧について、落札率が一番高い橋りょう工事の対応業者は多いと考えるが参加者数は1社しかない理由、また、落札率2番目のエレベーター工事は専門的な部分もあり参加者数は1社だが、参加者を増やす努力や高落札率を下げるための努力を行なっているのか知りたい。
- ・ 資料7の立川市職員倫理審査会の報告審査で、宇都宮市職員が行政視察に来た際に、立川市役所のどの部署に来たのか教えてほしい。
- ・ 行政視察の際の菓子折り等の持参については、匿名アンケートで出てくる内容の割には報告件数が少ないのではないかと。4ヶ月で1件だけというのは、まだ報告の制度が庁内に徹底できていないのではないかと思うので、今後もそうした目で見て取り組みを進めてもらいたい。
- ・ 特命随意契約の平均落札率は97%、98%と100%と2~3%の開きが出ている理由は、予定価格を算出するうえでの制度上の誤差なのか、市が価格交渉等で努力を行なった結果なのかを知りたい。もし、努力を行なった結果ということであれば、今後も継続していこうと庁内共有していくことが必要と思う。
- ・ 新設する立川市ごみ焼却場について、プラント費用として

200億円以上かかると思うが、現在、市として当該費用にあてる手持ち金がどの程度あるのか、地方債はいくらで何年返済なのか、今後、そのために市民税等を上げるような考えがあるのか。また、焼却場への搬入道路を作る計画もあると聞いているが、当該用地買収など周辺対策費用も含めて200億円なのか知りたい。

- ・ 焼却場への搬入路については昭島方面と聞いたが、北側から入る道はどこを通るのか知りたい。

3 その他

(1) 今後の予定

次回会議については来年2月頃を予定している。

以 上